

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東
 コード番号 7818 URL http://www.trans-action.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年8月期第1四半期 | 3,980 | 22.3 | 502 | 23.6 | 507 | 34.6 | 333 | 36.6 |
| 29年8月期第1四半期 | 3,254 | 12.6 | 406 | 47.2 | 376 | 37.1 | 243 | 29.3 |

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 362百万円 (10.3%) 29年8月期第1四半期 328百万円 (59.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年8月期第1四半期 | 11.75 | 11.60 |
| 29年8月期第1四半期 | 9.53 | 9.47 |

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年8月期第1四半期 | 9,256 | 6,801 | 73.5 |
| 29年8月期 | 9,293 | 6,724 | 72.4 |

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 6,801百万円 29年8月期 6,723百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年8月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 30年8月期 | — | — | — | — | — |
| 30年8月期(予想) | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,021 | 8.7 | 747 | 5.2 | 755 | 12.1 | 489 | 11.6 | 17.22 |
| 通期 | 14,458 | 7.2 | 1,601 | 11.3 | 1,616 | 15.3 | 1,053 | 12.9 | 37.05 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年8月期1Q | 28,898,800株 | 29年8月期 | 28,898,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年8月期1Q | 521,112株 | 29年8月期 | 538,412株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年8月期1Q | 28,362,546株 | 29年8月期1Q | 25,593,008株 |

（注）当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により消費者マインドの持ち直しがみられるものの、景気回復の実感が乏しい状況となりました。また、海外経済は堅調に推移しているものの、不安定な国際情勢などから、引き続き不確実性への懸念が払拭できない状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、魅力ある新製品の開発や新規事業の拡大、製造原価の低減などに取り組んでまいりました。また、平成29年10月12日に公表した平成30年8月期を初年度とする「トランザクショングループ中期経営計画(第2次)」を策定し、計画の達成に向け取り組みを始めました。

主力事業であるカスタムメイド雑貨事業では、エンタテインメント業界における各種イベント物販品の受注拡大に努めたことに加え、マーケティング部を新設し、顧客の潜在ニーズを推測した積極的な営業活動の推進、顧客戦略に基づくコンサルティング営業の強化、セールスプロモーション領域の拡大を図ってまいりました。オリジナル雑貨事業では、主力製品であるエコバッグやタンブラー・ボトルが好調に推移したほか、モバイルバッテリーを中心としたモバイル関連製品が引き続き大きく伸長しております。ペットウェア雑貨製品では、日本最大級のファッション通販サイト「ZOZOTOWN」で初となるペットウェア雑貨ショップ「PET'S CLOSET」をオープンし、売上拡大を図ってまいりました。トラベル雑貨製品においては、機能性を追求した「極上トラベルギアシリーズ」を新たに立ち上げ、アイマスク・耳栓・ミニクッションの3製品の販売を開始いたしました。

V A P E 事業の店舗販売では、「銀座店」「上野中央通り店」に加え、神奈川県初出店となる「横浜駅西口店」の3店舗を出店したことにより既存店は15店舗となりました。卸売販売においては引き続き販売チャネルの拡大に努め、WEB販売の個人ユーザー向け輸入代行サイトでは「LIBERTY FLIGHTS」に加え、平成29年7月にオープンした「Vape. SHOP」の販売強化を図るとともに、国内向けECサイト「Vape Studio」を含めた3サイトの販売強化を図ってまいりました。

生産については、引き続き価格面と品質面で安定的な調達を継続すべく、中国及びその他アジア諸国における生産拠点の最適化を推進いたしました。また、新たに熱転写印刷機を導入し、雑貨製品へダイレクトにプリントをするオンデマンド印刷への対応強化を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、39億80百万円(前年同期比7億26百万円、22.3%の増加)、営業利益は、売上高の伸長による売上総利益の確保及び利益率の改善により5億2百万円(前年同期比96百万円、23.6%の増加)となり、経常利益は5億7百万円(前年同期比1億30百万円、34.6%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円(前年同期比89百万円、36.6%の増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

<販売経路別販売実績>

| 販売経路 | 売上高 | | 増減 | |
|---------------|---------------------------|---------------------------|--------------|------------|
| | 前第1四半期 連結累計期間 (百万円) | 当第1四半期 連結累計期間 (百万円) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| エンドユーザー企業向け事業 | 1,676 | 1,798 | 121 | 7.3 |
| 卸売事業者向け事業 | 1,437 | 1,832 | 395 | 27.5 |
| EC事業及び小売り事業 | 140 | 349 | 209 | 149.1 |
| 合計 | 3,254 | 3,980 | 726 | 22.3 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

<製品分類別販売実績>

| 製品分類 | 売上高 | | 増減 | |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|--------------|------------|
| | 前第1四半期 連結累計期間 (百万円) | 当第1四半期 連結累計期間 (百万円) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 一般雑貨製品 | 1,762 | 2,280 | 518 | 29.4 |
| エコ雑貨製品 | 1,237 | 1,407 | 170 | 13.8 |
| ヘルスケア&ビューティ雑貨製品 | 193 | 204 | 10 | 5.6 |
| その他 | 61 | 88 | 26 | 43.8 |
| 合計 | 3,254 | 3,980 | 726 | 22.3 |

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、設計・デザインの受託業務、印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円増加し、79億28百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2億46百万円、有価証券の増加1億94百万円、製品の増加88百万円、前払金の増加74百万円、現金及び預金の減少5億78百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、13億27百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の減少1億14百万円、無形固定資産の減少6百万円、有形固定資産の増加40百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、18億44百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少2億8百万円、預り金の増加1億5百万円、買掛金の増加89百万円、ポイント引当金の増加3百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ59百万円減少し、6億9百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少65百万円、資産除去債務の増加4百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、68億1百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加44百万円、繰延ヘッジ損益の増加20百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、平成29年10月12日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,657,241 | 3,078,728 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,939,864 | 2,186,455 |
| 有価証券 | 87,701 | 281,739 |
| 製品 | 1,783,075 | 1,871,521 |
| その他 | 423,002 | 513,346 |
| 貸倒引当金 | △5,382 | △3,342 |
| 流動資産合計 | 7,885,504 | 7,928,450 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 385,649 | 426,502 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 102,155 | 96,040 |
| 無形固定資産合計 | 102,155 | 96,040 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 928,024 | 811,806 |
| 貸倒引当金 | △7,993 | △6,570 |
| 投資その他の資産合計 | 920,031 | 805,236 |
| 固定資産合計 | 1,407,835 | 1,327,780 |
| 資産合計 | 9,293,339 | 9,256,230 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 719,635 | 808,747 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 281,682 | 268,336 |
| 未払法人税等 | 342,560 | 134,551 |
| 賞与引当金 | 159,737 | 88,372 |
| 株主優待引当金 | 13,386 | 13,386 |
| ポイント引当金 | 7,551 | 11,468 |
| その他 | 375,207 | 519,867 |
| 流動負債合計 | 1,899,760 | 1,844,730 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 331,897 | 266,080 |
| 退職給付に係る負債 | 275,516 | 278,976 |
| 資産除去債務 | 49,950 | 54,290 |
| その他 | 12,032 | 10,299 |
| 固定負債合計 | 669,395 | 609,646 |
| 負債合計 | 2,569,156 | 2,454,377 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,510,662 | 1,510,662 |
| 資本剰余金 | 1,736,874 | 1,736,874 |
| 利益剰余金 | 3,555,988 | 3,600,247 |
| 自己株式 | △119,567 | △115,719 |
| 株主資本合計 | 6,683,957 | 6,732,064 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,863 | △117 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5,093 | 25,851 |
| 為替換算調整勘定 | 49,753 | 54,908 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △11,998 | △11,094 |
| その他の包括利益累計額合計 | 39,984 | 69,547 |
| 新株予約権 | 242 | 241 |
| 純資産合計 | 6,724,183 | 6,801,853 |
| 負債純資産合計 | 9,293,339 | 9,256,230 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 3,254,232 | 3,980,608 |
| 売上原価 | 2,094,019 | 2,491,264 |
| 売上総利益 | 1,160,212 | 1,489,344 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 270,868 | 358,443 |
| 賞与引当金繰入額 | 58,740 | 73,473 |
| 退職給付費用 | 13,024 | 12,928 |
| 貸倒引当金繰入額 | △2,136 | △323 |
| ポイント引当金繰入額 | 737 | 3,917 |
| その他 | 412,278 | 538,123 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 753,513 | 986,562 |
| 営業利益 | 406,699 | 502,781 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20 | 2,804 |
| 受取保証料 | 1,733 | 1,733 |
| その他 | 486 | 934 |
| 営業外収益合計 | 2,239 | 5,471 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 888 | 827 |
| 新株発行費 | 18,669 | — |
| 為替差損 | 12,405 | — |
| その他 | — | 30 |
| 営業外費用合計 | 31,963 | 857 |
| 経常利益 | 376,975 | 507,395 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 132 | — |
| 新株予約権戻入益 | 3 | 0 |
| 特別利益合計 | 135 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 150 | — |
| 固定資産除却損 | 113 | 0 |
| 特別損失合計 | 263 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 376,847 | 507,396 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 142,834 | 132,003 |
| 法人税等調整額 | △9,961 | 42,170 |
| 法人税等合計 | 132,872 | 174,174 |
| 四半期純利益 | 243,974 | 333,221 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 243,974 | 333,221 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 243,974 | 333,221 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 2,746 |
| 繰延ヘッジ損益 | 57,955 | 20,758 |
| 為替換算調整勘定 | 25,872 | 5,154 |
| 退職給付に係る調整額 | 993 | 903 |
| その他の包括利益合計 | 84,822 | 29,563 |
| 四半期包括利益 | 328,797 | 362,785 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 328,797 | 362,785 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。